

AAALA ニュース 122 号 内容紹介

1, 鈴木勝比古「ASEAN との交流促進と今後の発展の可能性」

日本 AALA のカンボジア訪問団（11 月 29 日～12 月 5 日）にアドバイザー、通訳として参加した鈴木勝比古さん（常任理事）の報告です。12 月 15 日の報告会での内容に加筆していただきました。

2, M・クレシ「2 兆ドルの軍事費と地球を救うための千億ドル」

待ったなしの気候変動対策。危機の宣伝と口約束だけで実行をせず、軍事費に資金を費やす欧米富裕国の偽善を、英国の反戦団体「戦争ストップ連合」の元議長が告発。三大陸誌「非同盟の再生」の第 10 論考です。

3, M・ロスサントス「ペルーの寡頭制勢力がカスティーヨを打倒」

農民や貧困層の支持を受け、昨年の大統領選挙で政権についたペドロ・カスティーヨ大統領が議会で罷免され、投獄された。同国を支配するオルガルキ（寡頭制）勢力による策動だと、三大陸研究所の研究者がレポート。

4, B・ノートン「リマ駐在の米大使がクーデター前日に国防相と会談」

駐ペルー米大使はベテランの CIA エージェントで、カスティーヨ大統領が罷免された議会 デターの前日、ペルー国防相との会談していた。動かぬ証拠とともに議会クーデターの内幕が記されている。

5, 欧州ラテンアメリカ議員連盟の左派、進歩的議員の共同宣言

11 月末ブリュッセルで開かれた同連盟の会議に参加した議員たちが出した共同宣言。対話と外交の重要性を強調し、ウクライナ戦争の終結と政治解決にむけて、交渉チャンネルを開けと訴えている。

6, A・R ゼレンスキーと御用メディアの危険な嘘が暴かれた」

ポーランドに着弾したウクライナのミサイル。ロシアの仕業と非難したゼレンスキーの嘘がバレた。第三次世界大戦の引き金になりかねない事件の真相をなぜ追求しないのか。西側報道に鋭い批判を続ける記者の検証。

7, 大西広「アジアの分断に日本は特別の責任」

12月8日、太平洋戦争開始81周年にあたっての日本平和大会実行委員会主催の東京・有楽町での街頭演説です。

このほか皆様から掲載希望の論考、情報をいただきましたが、収容しきれませんでした。あしからずご了解をお願いします。読者から参考になると推奨があった資料のなかから以下の3本のテーマとリンクをご紹介します。

塩川伸明「ウクライナ問題の背景」

<https://www.youtube.com/watch?v=EUaCW4nsfdo>

浅井基文「ウクライナ問題と台湾問題 - 東アジアの平和と日本外交 - 」

<https://www.ne.jp/asahi/nd4m-asi/jiwen/thoughts/2022/1513.html>

遠藤誉「反ゼロコロナ「白紙運動」の背後に DAO 司令塔」

<https://news.yahoo.co.jp/byline/endohomare/20221130-00326323>

今年の最後の号です。来年もよろしくお願いします。